

予期後悔傾向と新型コロナウイルス感染予防行動の 関連性の検討

The Relationship between Anticipated Regret and COVID-19 Protective Behavior

キーワード: 予期後悔, 新型コロナウイルス感染予防行動, 他者リスク回避行動

Keywords: Anticipated Regret, COVID-19 Protective Behavior, Risk Taking Behavior for Others

株式会社インテージ¹ 筑波大学システム情報系²

INTAGE Inc.¹, Faculty of Engineering, Information and Systems, University of Tsukuba²

○石渡 崇晶¹ 上市 秀雄²

Takaaki Ishiwatari¹

Hideo Ueichi²

i.taka24862580@gmail.com

● 背景

➤ 新型コロナウイルス感染予防行動の定着に向けて

- 新型コロナウイルス感染予防行動の強い感染力に対応するべく、
他者に感染させないことへの注意喚起が行われた (厚生労働省a, 2020; 東京都, 2020)
- 持続可能な国民生活を保障するべく、
感染予防行動を取り入れた“新しい生活様式”の定着が必要 (厚生労働省b, 2020)

もし自分の
おじいちゃん
おばあちゃんに
うつしちゃったら……と
想像してみる。



※出典：厚生労働省a, 2020



※出典：東京都, 2020

予期後悔や社会的距離要因に着目した予防行動意図の分析が必要

● 背景

➤ 感染予防行動に影響を与えると予測される要因

- 健康予防行動に
影響を与える要因 (Brewer et.al., 2016)
- 他人のための意思決定に
影響を与える要因 (Montinari & Rancan, 2018)

予期後悔

結果を想像してどのくらい後悔するか
(Zeelenberg, 1999)



社会的距離要因

自分と他者との心理的距離感
(Trope & Liberman, 2010)



予期後悔の傾向性や社会的距離要因に着目した予防行動意図の検討が必要

● 目的

➤ 背景のまとめ

- “新しい生活様式”の定着に向け、
他者に感染させるリスクを含めた感染予防行動の促進が必要

➤ 先行研究のまとめ

- 予期後悔の傾向性や社内的距離要因が
感染予防行動意図を規定する可能性あり
- 予期後悔や社会的距離要因に着目した感染予防行動意図の規定因が
十分に検討されていない

➤ 本研究の目的

**感染予防行動意図を検討するべく、
予期後悔と社会的距離要因新型コロナウイルス感染予防行動意図の関連性を検討**

● 方法

➤ 調査の手続き

- ・ 調査対象: 都市圏に住む一般消費者500名（男性：250名、平均年齢44.69歳）
- ・ 実施時期: 2020年12月ごろにインターネット調査を実施

➤ 分析手法

- ・ 相関分析（ピアソンの積率相関係数）

➤ 質問紙の構成

- ・ 予期後悔傾向尺度:
上市（2011）によって作成された28項目を使用
- ・ 新型コロナウイルス感染予防行動:
社会的距離が異なる自身、家族、小売店周辺他者の3者に対する
10項目の感染予防行動意図を使用

● 方法

➤ 予期後悔傾向の質問項目

- ・ 上市（2011）を参考に質問項目を作成
- ・ 1: あてはまる～5: あてはまらないの5件法で測定
- ・ 28項目に対して因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行い、先行研究で示された因子が抽出できるように質問項目を調整

測定因子	質問項目例
将来の悪い出来事を 予想しなかったことに関する因子 （後悔予期能力）	ささいなちょっとしたトラブルではあるが、自分が気をつけていれば避けることができた場合 「きちんと気をつけておけばよかった」と後悔すると思う
十分な思慮をしなかったこと に関する因子 （将来思慮能力）	事前に予想できないくらいの最悪の事態におちいってしまい、 その事態に適切に対処できなくなった場合「こんなことなら最悪の事態も考えておけばよかった」と後悔すると思う
後悔回避の可能性に関する因子 （後悔回避可能性）	よりよくするためにチャレンジしたが、失敗して以前よりも悪い状態になった場合方が、 何もせず現状のままでいるよりも、後悔は小さいと思う
後悔に対する感受性の因子 （後悔感受性）	最善のことをしたとしても、失敗した場合のことが気になってしまう

● 方法

➤新型コロナウイルス感染予防行動意図に関する質問項目

- ・ 自身、家族、小売店周辺他者の3者に対する感染予防行動意図を回答
 - 下線部の感染予防行動を行う対象を3者ごとに変えたパターンの質問項目を作成
- ・ 1: そう思わない～5: そう思うの5件法で測定

感染予防行動	自己感染予防行動の質問項目
マスクの着用	<u>自分が</u> 感染しないために、外出するときはマスクをしようと思う。
帰宅時の手洗い	<u>自分が</u> 感染しないために、帰宅時の手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗おうと思う
ソーシャルディスタンスの確保	<u>自分が</u> 感染しないために、人との間隔をできるだけ2m空けようと思う
手の消毒	<u>自分が</u> 感染しないために、買い物等でお店に入ったときや出る時には、手の消毒薬があるかどうかを確認し、消毒薬があれば使おうと思う
身の回りの消毒	<u>自分が</u> 感染しないために、携帯電話・スマートフォンなど身の回りの物を除菌・消毒しようと思う
密閉空間の回避	<u>自分が</u> 感染しないために、カラオケボックスなど密閉された環境を避けようと思う
密接空間の回避	<u>自分が</u> 感染しないために、通勤・通学ラッシュ時の電車やバスなど人が密接する環境を避けようと思う
密集空間の回避	<u>自分が</u> 感染しないために、大型商業施設やテーマパークなど人が密集する環境を避けようと思う
長距離移動の回避	<u>自分が</u> 感染しないために、新型コロナウイルスの感染が流行している地域からの移動や感染が流行している地域への移動を避けようと思う
普段からの健康管理	<u>自分が</u> 感染しないために、検温をするなど、自分の健康状態を確認しようと思う

● 結果

➤ 予期後悔傾向と自己感染予防行動意図との関連

- 予期後悔能力と後悔回避可能性の因子が、多くの自己感染予防行動と関連
- 将来思慮能力も一部の自己感染予防行動意図と関連
 - 他対象の感染予防行動意図と比べて唯一“密閉空間の回避”が有意

感染予防行動	後悔予期能力	将来思慮能力	後悔回避可能性	後悔感受性
マスクの着用	0.177	0.106	0.238	-0.028
帰宅時の手洗い	0.210	0.133	0.246	0.002
ソーシャルディスタンスの確保	0.177	0.082	0.201	-0.022
手の消毒	0.177	0.089	0.262	-0.027
身の回りの消毒	0.135	0.147	0.204	0.068
密閉空間の回避	0.258	0.180	0.204	0.015
密接空間の回避	0.204	0.129	0.224	0.057
密集空間の回避	0.261	0.153	0.178	0.023
長距離移動の回避	0.251	0.183	0.221	0.032
普段からの健康管理	0.097	0.067	0.261	-0.059

※0.1%で有意な相関が
認められた箇所を赤字で記載

● 結果

➤ 予期後悔傾向と家族感染予防行動意図との関連

- 予期後悔能力と後悔回避可能性の因子が、多くの家族感染予防行動と関連
- 将来思慮能力も一部の自己感染予防行動意図と関連
 - 他対象の感染予防行動意図と比べて唯一“ソーシャルディスタンスの確保”が有意

感染予防行動	後悔予期能力	将来思慮能力	後悔回避可能性	後悔感受性
マスクの着用	0.225	0.125	0.214	-0.020
帰宅時の手洗い	0.237	0.141	0.241	0.043
ソーシャルディスタンスの確保	0.158	0.147	0.162	0.018
手の消毒	0.195	0.111	0.245	-0.010
身の回りの消毒	0.145	0.159	0.184	0.062
密閉空間の回避	0.233	0.132	0.210	-0.013
密接空間の回避	0.224	0.138	0.206	0.035
密集空間の回避	0.253	0.149	0.173	0.021
長距離移動の回避	0.266	0.175	0.211	0.040
普段からの健康管理	0.127	0.084	0.218	-0.025

※0.1%で有意な相関が

認められた箇所を赤字で記載

● 結果

➤ 予期後悔傾向と小売店周辺他者感染予防行動意図との関連

- 予期後悔能力と後悔回避可能性の因子が、多くの自己感染予防行動と関連
- 将来思慮能力も一部の自己感染予防行動意図と関連
 - 他対象の感染予防行動意図と比べて唯一“マスクの着用”が有意

感染予防行動	後悔予期 能力	将来思慮 能力	後悔回避 可能性	後悔 感受性
マスクの着用	0.246	0.148	0.202	0.035
帰宅時の手洗い	0.202	0.126	0.258	0.056
ソーシャルディスタンスの確保	0.192	0.114	0.194	0.037
手の消毒	0.253	0.146	0.239	0.054
身の回りの消毒	0.114	0.155	0.216	0.087
密閉空間の回避	0.185	0.116	0.178	0.020
密接空間の回避	0.166	0.110	0.196	0.052
密集空間の回避	0.220	0.140	0.182	0.059
長距離移動の回避	0.233	0.170	0.205	0.081
普段からの健康管理	0.113	0.082	0.228	0.001

※0.1%で有意な相関が

認められた箇所を赤字で記載

● 結果

➤ 結果のまとめ

- 社会的距離要因を変化させ場合であっても、
予期後悔傾向と感染予防行動意図との関連性は概ね同一の結果となった
- 将来思慮能力において、
一部の感染予防行動意図が社会的距離によって異なる傾向あり
- 後悔の感受性と感染予防行動との関連性は弱い傾向あり

社会的距離別の感染予防行動意図	予期後悔後悔傾向との関連性
自己感染予防行動意図	• “密閉空間の回避”や“密集空間の回避”、“長距離移動の回避” といった <u>感染リスクのある場所を避けるような行為との 関連性が特に強い</u> 傾向あり
家族感染予防行動意図	• 小売店周辺他者といった <u>社会的距離が遠い対象と比較して、 相対的に関連性が強い</u> 傾向あり • “ソーシャルディスタンスの確保”といった、 <u>他者へ感染させないような行動が強く関連</u>
小売店周辺他者 感染予防行動意図	• “マスクの着用”といった、 <u>小売店内にいる第3者へ感染させないような行動が強く関連</u> • 自己・家族といった <u>社会的距離の近い対象と比較して、 相対的に関連性が弱い</u> 傾向あり

● 考察

➤ 予期後悔傾向と感染予防行動意図との関連性

- 予期後悔傾向の内、後悔の予期と将来の後悔の回避が感染予防行動意図と強く関連する傾向あり
- 後悔の感受性や将来を思慮する能力との関連性は弱い傾向あり

● 考察

➤ 社会的距離が予期的後悔傾向と感染予防行動との関連性に与える影響

- 社会的距離要因を変化させ場合であっても、
予期後悔傾向と感染予防行動意図との関連性は概ね同一

➤ 今後の課題

● 参考文献

Brewer, N. T., DeFrank, J. T., & Gilkey, M. B. (2016). Anticipated regret and health behavior: A meta-analysis. *Health Psychology*, 35(11), 1264. doi: 10.1037/hea0000294.

厚生労働省a(2020). Q&A、自治体・医療機関・福祉施設向け情報.

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/qa-jichitai-iryokikan-fukushishisetsu.html#h2_4. (2021/1/31最終閲覧) .

厚生労働省b(2020). 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例を公表しました.

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html. (2021/1/31最終閲覧) .

Montinari, N., & Rancan, M. (2018). Risk taking on behalf of others: The role of social distance. *Journal of Risk and Uncertainty*, 57(1), 81-109. doi: 10.1007/s11166-018-9286-2.

東京都 (2020c). 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ～「新しい日常」が定着した社会の構築に向けて～.

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1007942/1007957.html> (2020年11月20日最終閲覧).

Trope, Y., & Liberman, N. (2010). Construal-level theory of psychological distance. *Psychological Review*, 117, 440–463. doi: 10.1037/a0018963.

Zeelenberg, M. (1999). Anticipated regret, expected feedback and behavioral decision making.

Journal of behavioral decision making, 12(2), 93-106. doi: 10.1002/(SICI)1099-0771(199906)12:2<93::AID-BDM311>3.0.CO;2-S.

● 付録

➤ 新型コロナウイルス感染予防行動意図に関する質問項目

- ・ 1: そう思わない～5: そう思うの5件法で測定

感染予防行動	家族感染予防行動の質問項目
マスクの着用	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、家にウイルスを持ち込まないように外出時にマスクをしようと思う。
帰宅時の手洗い	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、帰宅時の手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗おうと思う
ソーシャルディスタンスの確保	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、家族との間隔をできるだけ2m空けようと思う
手の消毒	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、買い物等でお店に入ったときや出る時には、手の消毒薬があるかどうかを確認し、消毒薬があれば使おうと思う
身の回りの消毒	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、携帯電話・スマートフォンなど身の回りの物を除菌・消毒しようと思う
密閉空間の回避	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、カラオケボックスなど密閉された環境を避けようと思う
密接空間の回避	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、通勤・通学ラッシュ時の電車やバスなど人が密接する環境を避けようと思う
密集空間の回避	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、大型商業施設やテーマパークなど人が密集する環境を避けようと思う
長距離移動の回避	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、新型コロナウイルスの感染が流行している地域からの移動や感染が流行している地域への移動を避けようと思う
普段からの健康管理	<u>自分が家族に</u> 感染させないために、検温をするなど、自分の健康状態を確認しようと思う

● 付録

➤ 新型コロナウイルス感染予防行動意図に関する質問項目

- ・ 1: そう思わない～5: そう思うの5件法で測定

感染予防行動	小売店周辺他者感染予防行動の質問項目
マスクの着用	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、お店の中でマスクをしようと思う。
帰宅時の手洗い	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 帰宅時の手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗おうと思う
ソーシャルディスタンスの確保	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、お店の中で人との間隔をできるだけ2m空けようと思う
手の消毒	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 買い物等でお店に入ったときや出る時には、手の消毒薬があるかどうかを確認し、消毒薬があれば使おうと思う
身の回りの消毒	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 携帯電話・スマートフォンなど身の回りの物を除菌・消毒しようと思う
密閉空間の回避	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、カラオケボックスなど密閉された環境を避けようと思う
密接空間の回避	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 通勤・通学ラッシュ時の電車やバスなど人が密接する環境を避けようと思う
密集空間の回避	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 大型商業施設やテーマパークなど人が密集する環境を避けようと思う
長距離移動の回避	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、 新型コロナウイルスの感染が流行している地域からの移動や感染が流行している地域への移動を避けようと思う
普段からの健康管理	<u>自分が普段利用しているお店の従業員や周りのお客さんに感染させないために</u> 、検温をするなど、自分の健康状態を確認しようと思う

● 付録

- 予期後悔傾向の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転）
- ・ 上市（2011）と同様の4因子が抽出された

測定因子	質問項目例			
第1因子: 将来の悪い出来事を予測しなかったことに関する因子の項目（後悔予期能力） ($\alpha = .897$)	後悔予期能力	将来思慮能力	後悔回避可能性	後悔感受性
ささいなちょっとしたトラブルではあるが、自分が気をつけていれば避けることができた場合「きちんと気をつけておけばよかった」と後悔すると思う	0.875	-0.183	-0.043	0.180
やらない方がよいことだと思いつつも、その行為をしたため、悪い結果が生じてしまった場合、「やるべきではなかった」と後悔すると思う	0.715	0.103	-0.197	0.061
あまり深く考えずに行動したら、自分の予想以上の悪いことが起こってしまった場合「こんなことならもっとよく考えておけばよかった」と後悔すると思う	0.709	0.163	-0.037	0.025
「やらなければならない」と感じながらも、「どうにかなるさ」と思ってやらずにいたら、その時以上にもっとやらなくてはならなくなった場合、「こんなことならはじめからやっておけばよかった」と後悔すると思う	0.696	0.187	0.032	-0.101
避けることができたトラブルだったにもかかわらず、特に何もしなかったら、ちょっとしたトラブルにみまわれてしまったとしたら、「なにもしなかったこと」を後悔すると思う	0.657	-0.103	0.197	0.067
「もしかしたら後でまずいことになるかも」と感じながらも、「なんとかなるさ」と思っていたら予想した通りのまずいことが起こってしまい、その時にそれに対して十分な対応ができなかった場合、「具体的な対策を考えておけばよかった」と後悔すると思う	0.608	0.337	0.080	-0.135

● 付録

- 予期後悔傾向の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転）
- ・ 上市（2011）と同様の4因子が抽出された

測定因子	質問項目例			
第2因子：十分な思慮をしなかったことに関する因子の項目（将来思慮能力） （ $\alpha = .826$ ）	後悔予期能力	将来思慮能力	後悔回避可能性	後悔感受性
事前に予想できないくらい最悪の事態におちいってしまい、その事態に適切に対処できなくなった場合「こんなことなら最悪の事態も考えておけばよかった」と後悔すると思う	0.105	0.770	-0.018	-0.081
めったに起こらないことなので、そんなことが起こることを考えもしなかったら、それが起こってしまい、その事態に適切に対処できなくなった場合、「めったに起きないことであっても起こった場合のことを考えておけばよかった」と後悔すると思う	0.072	0.678	0.060	-0.043
将来のことはどうなるかわからないので、この先どうなるかについて考えもしなかったら自分が思っていた結果よりももっと悪い状態になってしまっていた場合、「こんなことならずっと先のことまで考えておけばよかった」と思う	0.237	0.645	0.031	-0.086
近い将来の事柄を重視してAを選択したら、最もよい結果が得られてよかったのだが、しかし数年経った後、総合的にみても、実は他の選択肢Bを選んでおいた方がよかった場合、Aを選んだことを後悔すると思う	-0.112	0.576	-0.026	0.221
今だけでなく遠い将来に起こりそうな事柄も十分考慮した上で、Aを選択したら、その後何年か経過しても何らよいこともなく、何も考えずに他の選択Bをしていた方がよかった場合、Aを選んだことを後悔すると思う	-0.074	0.537	-0.008	0.226

● 付録

- 予期後悔傾向の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転）
- ・ 上市（2011）と同様の4因子が抽出された

測定因子	質問項目例			
第3因子：後悔回避の可能性に対する因子の項目（後悔回避可能性） （ $\alpha = .773$ ）	後悔予期 能力	将来思慮 能力	後悔回避 可能性	後悔 感受性
よりよくするためにチャレンジしたが、失敗して以前よりも悪い状態になった場合の方が、何もせず現状のままだいるよりも、後悔は小さいと思う	-0.177	0.108	0.777	-0.032
たとえ悪い結果になったとしても、早めに決めたときのほうが、できるだけ決定を先延ばしにしたときよりも、後悔は小さいと思う	0.020	0.028	0.652	0.062
「一所懸命やったとしても、たぶんうまくいかないだろうな」と感じながらも「がんばってやってみよう」と思って一所懸命やってみたが、結局予想した通りうまくいかなかったとしても、「がんばってやってみてよかった」と思う	0.087	-0.096	0.648	-0.001
たとえ最悪の結果になったとしても、十分に考えた末に意思決定した結果であれば、後悔しないと思う	0.014	-0.140	0.604	-0.069
何らかの重要なことを決めるときに、その意思決定を遅らせれば遅らせるほど、後悔する可能性は高くなると思う	0.056	0.099	0.533	0.055

● 付録

- 予期後悔傾向の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転）
- ・ 上市（2011）と同様の4因子が抽出された

測定因子	質問項目例			
第4因子：後悔に対する感受性の因子の項目（後悔感受性） （ $\alpha = .754$ ）	後悔予期 能力	将来思慮 能力	後悔回避 可能性	後悔 感受性
最善のことをしたとしても、失敗した場合のことが気になってしまう	0.066	-0.006	-0.031	0.799
何をするにしても、うまくいった場合のことよりも、失敗して後悔した場合のことを考える	0.126	-0.06	0.035	0.669
何らかの決定をするときにはいつも、「もしこの決定をして失敗したら、この決定をしたことをどのくらい後悔するだろうか」ということを考える	-0.107	0.329	0.047	0.459
累積寄与率%				
17.0 30.1 41.6 49.5				
因子間相関				
第1因子				
第2因子				
第3因子				
第4因子				
	.458			
	.597	.211		
	-.380	.063	-.643	